

令和6年10月幹事会議事録

日時 令和6年12月15日(日) 10時00分～12時15分
場所 東京外国語大学 国際交流会館 1F 連絡室 zoom会議併用
出席者 谷、甘利、小平(司会)、阿部、井上、神戸、山田
勝又、山根、佐久間・・・オンラインにて 以上10名

1. 報告事項

(1) 学内状況 (谷)

・ 学長の交代

林佳世子学長が退任し、春名展生副学長が学長に就任する。

歴代最年少、初の留学生教育部局出身の学長が誕生することとなる。

・ 林学長との面談

12月6日(金)に、林学長および篠原副学長と谷会長が面談をし、本会の入会宣伝への大学の機会提供について協議した。

(2) 事業報告

1) 古都鎌倉散策 (野口幹事から提出された報告書参照)

・ 11月9日(日)実施

・ 交通費、食事代、拝観料合わせて4000円超という予算が適当か、再考の余地あり。

・ 留学生の財政状況に応じて補助の額を変えるべきか、その場合、基準はどうするか、次回に向けて検討する。

2) 外語祭での留学生支援活動のためのバザー (井上)

・ 11月22日(金)23日(土)24日(日)実施

・ 参加者の意識改革をし、チャリティーという目的を共有したことで売り上げを伸ばすことができた。

・ 特にブランド品については、値段を高く設定したが、納得して購入してもらうことが出来た。

・ 電機製品については事前の作動確認を徹底し、不良品を売らない様に気を付ける必要がある。それでも素人では詳細なチェックが出来ないことについて、説明する必要がある。

3) シンガポール中学生書道体験協力

・ 11月26日(火)実施

・ 国際化拠点室からの協力要請に応じて無償で行った。

・ 直前に講師の山口先生が怪我をされたことで心配したが、周囲の協力を得て無事開催できた。

4) 日本文化体験教室・国際交流の夕べ

・ 12月13日(金)実施

・ 日本文化体験は、例年に比べて参加者が少なかった。

・ 授業との兼ね合いもあったと推測されるが、無断キャンセルが多かった事が気になる。日本で生活するには、約束を守る事、時間に正確な事、連絡を入れることが全ての基本となるため、留学生にも躰けることが必要だという意見があった。

・ 着付け体験は女子学生26名、男子学生6名程度が参加した。着付け師10名の協力を得た。

・ 寄付していただいた着物の準備が十分にあり、着付け師の手も足りていたため、当日の飛び入り参加を受け入れることが出来た。

- ・ 国際交流の夕べは、例年に比べて参加者がかなり少なかった。ポスターは貼られたが、文字が小さ過ぎて読めなかった為、情報が伝わらなかった可能性がある。
 - ・ 会場についても、円形ホールは使われず、食堂部分だけであったのでかなりスペースが小さくなった。
 - ・ 例年催されるパフォーマンスがほとんど無く、盛り上がりに欠けた。
 - ・ 留学生課と国際交流会館長、留学生の交流が成り立っていなかった。
 - ・ イベント終了後に、活け花の展示の片づけをするのが大変であった。活け花体験参加者に、自分の作品は展示終了後、各自責任を持って持ち帰るよう、事前に伝えておくべきだった。
- (3) 連絡室関係 (井上)
- ・ 連絡室内の片づけを、協力して行った。特に冷蔵庫、戸棚の中の食品を整理した。
 - ・ 2 階倉庫の物品整理を行っている。かさばる寝具等を処分したいが、廃棄するには忍びない為、3 号館に移動し、200 円均一で販売する取り組みを企画中。
- (4) 組織 (阿部)
- 1) 新規の入会、会費、寄付
- ・ 新入会員 2 名。バザーに興味を持ち、支援の会自体の活動についても関心があるとのこと。
 - ・ 会費納入はこの 2 名の他に 3 名、合わせて 5 名。
- (5) その他
- 1) 次年度伝統芸能鑑賞の先行予約
- ・ 歌舞伎：7 月 25 日 19：00 開演、会場 ティアラこうとう（都営新宿線住吉駅）
60 席予約、1 番目に予約出来た。
→留学生の帰国期と重なるので、早めに募集を開始する。
 - ・ 文楽：12 月 17 日 18：00 開演、会場 東京芸術劇場（池袋駅）
50 席予約、4 番目に予約出来た。

2. 審議事項

- (1) 今後の事業の企画、準備
- 1) 深大寺散策 (山田)
- ・ 武蔵野探訪というテーマを設け、その一環として取り組むことにする
 - ・ 2 時間かけて野川沿いをじっくり散策しながら深大寺に向かう。
 - ・ 嶋田家で全員そろって昼食をとる。
 - ・ 現地ツアーガイドを予約し、深大寺周辺を案内してもらう。ガイドは基本 1 か月前に依頼が必要なので、ツアー名称と実施日を早めに決めたい。
 - ・ 山田幹事が、近日中に企画書を作成する。
- 2) ふじのくにツアー (勝又)
- ・ 勝又幹事より、松下会員に連絡し、確認でき次第報告する。
- 3) 府中市桜まつり民踊ながし (谷)
- ・ 実施予定日 3 月 22 日（土）
 - ・ 申込書は送付済み（参加予定 20 名）
- (2) 会報について (山根)
- 1) 77 号の内容評価
- ・ 原稿が遅れたが電子版は 11 月 29 日に配布、印刷版は予定通り 2 月 9 日に発送できた。既に会報を受け取っている人もあり、未だ受け取っていない人にも順次届く見込み。

- ・ これまで、会報発行後に皆で内容を評価する機会を設けてこなかったが、次号以降の内容の改善のために幹事会で意見を出し合う場を設けることにした。
- ・ 読者の意見欄を作ったら良いのでは、という意見があった。会員とのコミュニケーションの小さな手段になればよいと思う。
- ・ 意見の収集方法として、G form の QR コード掲載で対応してはどうかという意見があった。

(3) 入学時保護者入会の大幅減少への対応 (谷)

入学時における本会の入会宣伝活動への機会提供を縮減・廃止するという大学側の方針を変えることは困難である。この事実を踏まえ、当面、以下の取り組みを進める。

- 1) 教職員、外語会員、学生、近隣市民などへの入会宣伝を強める。
- 2) 既存の会員の継続・定着および幹事や協力会員としての活動参加を拡大する。

上記ための自由討論のなかで以下の具体案が出され、取り組むことにした。

- ①会報 77 号を全教職員に配布して、入会を呼びかける。(学長らの協力も得る)
- ②多言語多文化共生センターが実施する TUF S Cinema 鑑賞市民を対象にした入会宣伝を行う。
- ③希望会員によるホームステイ、ホームビジット受入れの仲介を行う。(担当山田幹事)

次回の幹事会は、1月19日(日)予定

佐久間 記